

眼科研修

◇ 研修目標および特徴

当科は眼科疾患の外科的治療が専門であり、白内障のみならず糖尿病網膜症や網膜剥離、穿孔性眼外傷などの難治性網膜硝子体疾患を中心に手術加療を行っている。研修にあたっては、他施設では類をみない豊富な症例をもとに、角結膜疾患や、ぶどう膜炎、神経眼科疾患などはもちろんのこと、当科の特徴である網膜硝子体疾患や、緊急性のある眼外傷に対し適切に診断し、速やかに対応する能力の育成を目標とする。

◇ 研修内容（方略）

a) オリエンテーション（1週間）

外来、病棟、手術室での指示方法、事務的処置についてマスターする。

b) 各人の経験歴により、外来、手術助手から開始。

病棟患者の受持ちは、研修医期間全てに渡って義務とする。

マンツーマン指導により手術方法や執刀医としての考え方を学び、将来に向け自立することを目標とする。

c) 症例カンファレンスに参加し、各種症例に対し質疑応答を繰り返すことで多様な疾患について深く理解するとともに対応能力を獲得する。

d) 臨床研修のみならず、学会発表、論文発表などについても積極的に行う。

◇ 指導責任者

恵美 和幸

◇ 週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	外来診療	病棟診察 院内CPC
火	外来診療	病棟診察
水	手術助手	病棟診察 スライドカンファ 手術助手
木	手術助手	病棟診察 手術助手
金	外来診療	病棟診察

◇ 評価方法

- (1) 各研修医は研修到達度の自己評価を PG-EPOC に入力する。
- (2) 研修指導医は研修期間終了時に、研修医の研修到達度を評価する